りました。 ・議長には、

>)たものからすれば大変不 昇進差別事件の和解、

<江刺家委員>

発言 (要旨

昇進試験の取り組み、

田芳夫委員

岩 Щ

失望感もあったのも理解し 充分であるのは間違いない、

年

の和解、

試験を公正公平

の挨拶ではじ

ま

ることをお願いします。 と当面する方針が確立され 委員会で確固たる意思統一 に向け活発な討論により本 みしています、それら前進

早い解決が求められている。

加者を送っている、

1日も

に進めていく」

会に地方本部から二名の参 中央に連動しての北海道集 基金等課題がたくさんある。

安全への取り組みを具体的

大きく出ている。

問題意識

一大な事故の発生、

犠牲も

委員会は橋本副委員長の

2463 Ν0 2006年3月30日

五十嵐敬 に行うといったことから、

今後も多くの 組合員に受験

出向配転、 していただき、

当者の状況、 復帰問題、 四十事件の和解では、 チェックすることが必要 配属差別等、

故、根水豊氏の遺族に対

発な発言があり、これまでの経過報告と、当面する闘 闘いの報告もありました。 討論では、十五名からの活 て百十七回定期地方委員会を開催しました。

討論の始めには、仙台市水道検針員ユニオンからの

国労仙台地方本部は、

二月十八日に国労会館におい

ている。

しかし、

この和解

いについて意思統一をしました。

万円が集まり有り難うござ 分会運動として 力を頂き百十三 は皆さんの御協 機関紙「ろば

に計画、

揃えつつある。今回は是非

スアップの要求で足並みも

いるといわれている、

気運を盛り上げていきたい。 も及ぼすのは間違いない、 いる。JR貨物等への影響 取り組み・闘いに掛かって を活かすも殺すも自分達の

春闘、景気が良くなって

勝ち取るために頑張ってい

私達の運動から多少なり

<吉田委員>

地本や共闘の指示・要請

問もある。

前には数多くの課題が山積 強化拡大の闘い等々私達の 労働条件改善の闘い、組織

させた、スタートに過ぎな

ばならない。

央集会を成功 て二・一六中

いる、歯止めを掛けなけれ 割が非正規労働者となって 用状況、女性の七割から八

いが対機構、

物販、

D R L

職場の問題、

安全の問題

早期解決、

06春闘の前進

きました。

採用差別事件の

難局を克服し の節目、この

方針確立し運動を展開して

題の前進に向け

国铁

「二十年目

きたい。格差の問題、

する取り組み、

流動的な雇

私達の諸

課 催 回

委員長あいさつ (要旨)

定期大会を開

昨年第六十

した。

沼駅連分会)が選出されま

替え時間も認めるようになっ 時間と帰ってきてからの着 受けた時、 た。 会の時間だけから、往復の け番で説明会等を陸原駅で 今は非番で出るのが当 超勤扱いが説明 明

九条の会へ加入を。 改正反対の取り組みとして、 付けるという決意を。 |制配転、それなりの経過 措置がある、糸口を必ず 秋田からの強 運転士への 該

<舟涛委員>

する援護資金で

彰)、九条の会へ参加を。 み(五年連続東日本本部表 た」の年間五十号の取り組 た取り組み、 議、次回の記念大会に向け 毎月第一水曜日の拡大班会 いました。

とも前進したこ とがある。 駅の社員が、 中間

が、 の闘いに対する愚痴もある をしている。採用差別事件

^及川委員> 後の課題もある たり前になっているが、

今

社民党宮城県連

昨年6月から支部として 組織拡大対策会 議を月1回開催

部内で、 具体的に二月六日からの支 組織拡大会議が開催され、 していきたい。 れ手渡しを行ってきた。 これらの討論と交流を通し 春闘と結合して組織拡大を 意識が植え付けられてきた。 月二十二日には、宮城県 チラシを封筒に入 各分会で拡大の 今

帯する会の拡大行動をやっ

国労議員団

石川仙台市会議員

· 星

議長

宮城県交運労協

宮城県平和労組会議

福島仙台市会議員

共産党宮城県委員会

本田県会議員

春闘の行動に向け全体集

長交渉を具体的 要求作りと現場 会の開催、 職場

<金野委員>

して動いている。

月の議会対策に向け分会と

教育訓練不足の問題、 協と連携強化を。 されない、団交と合わせ職 までの姿勢、なかなか改善 合としては出来ない、と今 な車両を提供できるのか疑 強制配転 安全

取り組んだ い状況。 <小瀬川委員>

バスの職場では、 規制緩

激化、 年々悪化

しかし、会社は組

一月二十五日に分回大会 まで「人事交流」 職場では、 を開催、 私達の これ

些細なミスや苦情などがあ 告や減給といった予想以上 まで食事することも出来な しの時間では明け番で退勤 に重い処分が出されてもい れば、乗務外しの日勤 と称した不当な配転、 仙石線は少ない折り返 何か 戒



棄処分としないよう点検

でも垂れ流しや 結果が「ゼロ」

毎月一単組オルグや連

-備時 間 の 和により競争の する労働条件、 短縮、 折り返し

団結

抵抗

統

メも入れて平均一万円、

年々 6

冬期物販は共闘からのスル 入り広めなければならない。 ている、国労組合員こそが

少なくなってきている、

現状。 期化、 おり、 中には、 時間の短縮、 頑張りたい。 休日出勤も強いられている に地道に組織拡大に向けて 若いプロパー社員の 慢性的な要員不足で 声を掛けられるよう 不平不満も持って 拘束時間の長

ペーンとかで、

社会的に周

<宍戸委員>

集約答弁

発言された、

横に広げなければ

を

限定免許の扱

アスベスト対策 制輪子故障、

出向先で

MTT削減で除雪体

健全で正常な労使関係の

<高木委員>

していく 回春闘四分会交流会を開催 制の役割が重要になってき 分会組織が六十九名、 餌に考えるといった状況、 労脱退、 ている。 二月に郡山運輸区の設置 四月十五日に第六 通勤条件希望地を 班体

<小檜山委員>

求。 題、 買い上げと百時間超える超 パートナー会社十二月休日 の要素、自動昇格制度の要 二名が合格、 昇進試験、 合否によっての不団結 事故の多発、 制度自体の問 九名受験して 冬期体制

<八木沼委員<

勤

やるにしても会社のキャ るんだと怒鳴られる、 いる。 今での七倍列車が止まって 対策として一律はおかしい り全部が下げられては大変。 風規制といっても、 な目に遭っている。 下げられた、白石-藤田間 羽越線の事故以来規制が 客からどうなってい いきな いくら 大変

・十一月一日突然仲間 じが国 融合化、新入社員含めて知 知すべきである。出改札の 職場実態 識の薄い人が多くなってい している人を当てにしての ಠ್ಠ 後方もおかない、

<阿部委員>

や雪で西古川まで除雪、 期で中山平から川渡だが風 件数を上げて貰いたい。 線閉を出しても入らない 大崎地区の選挙は ンテ合理化の問題。 事故以来原則線閉五 今後 乂 冬 の

<土田委員>

乗務員に

対

助役試験になった場合の対応 主任が増えることで仕事の扱い のか、その取組みをするのか 試験まで差別是正を求めてい

<大越委員>

の 五十五才で賃金三十%カッ 減額を要請したい。 五十五才以上の組合費

> での 亡事 特 事 線 を 九 でおこなれた。 止 休公休無 故 安 での職者 開 回 昨日第二十 全教 故、 催、 l 分 回 輪車 事 故 育 大 伯 外 防 の が

5 指 た 導、 の配転、 ような常務 不意を狙っ 秋 田 か 長

験していく、

対策については検

・2006年度も昇進試験を受 秋田希望者の取組み。

期単身赴任 題解消に努力を 問 受験する、その場合の差別是正 討する、助役試験も基本的には

注 死 備 会 かかわる要請等、

休憩

出向・ 試 験対 に 向 け

組みに

転事件」

組みは、 関紙の取組み バス会社の実態 ない課題も多い。組織拡大の取 を明らかに対策しなければなら いかない悩みについても組織的 告などの発言があった。中でも に共有化し、現状の把握と課題 がある。一方でなかなかうまく 告は、地本全体で学びあう必要 若松地区分会の基本的な活動報 分会活動の現状 仙総支部から具体的に

ていくことが問われる

強化、拡大を含めて5名の委員 から触れられた。 組織強化・拡大については 分会大会報 班会議、 శ్ఠ ध्

験の具体的対策について 助役

の発言で触れている。

昇進試

今後の課題について5名の委員

悩みや問題

ら対応したい、配転の関係では 関係改善を通して解決を進めて 外については支社段階での労使 題を和解協議で、さらにそれ以 申し立て者を基本に類似する問 いく。全体的に、組織運動とし

員の声として話し合いを広めよ 開催と要求集約、現場長への社 事務局で楽しい企画を準備して 往復時間の超勤扱いに であった。 仕事の見直し、分会集会の

いようにチラシ配布行動の検討 は5名の委員が発言で触れてい 安全の取組み、安全問題で ノーモア尼崎等、忘れな

する春闘、大衆行動として春闘 交流を計画しているなどの発言 行動、06春闘分会集会で要求 は4名の委員の発言で触れてい ならない。 行動楽しくやろう 春闘4分会 06春闘の取組みについて 06春闘での現場長要請 ダイヤ改正説明会での 今春闘はベアを獲得 春闘総 車防止について具体的に検証を 日勤教育の問題、線路故障、 事故続発、 た。安全問題プロジェクトとし 制厳しい原則線路閉鎖の矛盾、

て職協と連携を図り、風の問題、

直轄での機械除雪 パートナー

会社の安全意識などの発言があっ

の問題等も議論していくことに 風規制の問題でも止めるだけの 対策でよいのか、駅側への負担

行い、組合要求を確立していく、

動の前進をはかっていくことに 派の集会に参加していく。バス、 9条の会については共闘など見 貨物会社の組合員含め一帯で運 がら検討、3月20日の超党 改憲阻止の闘いについては、

統

の取組みについては基本的には No.

宮城県支部仙台駅連分会 柔道大会について」

く理解できなかった。し 3年ぶりか、それは、4 は何を言っているのかよ と言われたが、そのとき あおばにも載せられない」 人戦で優勝したときに 年前の支社柔道大会で個 支社柔道大会に参加する ことができました。 「おまえが優勝したから 昨年、3年ぶりの仙台 鈴木 なぜ 稔

かし、翌年に出場の申し 込みをしたら、大会への 否 を さ 出場拒

れまし

の理由

いと思います

役員とで何度か話し合い ました。会社側と地本の 加申し込みをしてもらい をして、柔道大会への参 道の経験者数人にお願い 本の役員と相談して、 大会には組合の仲間や地 断じて許すことはできな ٢í そこで、 昨年の柔道

導しない会社の姿勢は 介入してくる東労組、 いては昨年と同様でした。 をされました。理由につ その時は怒りを通り越し を聞けば「国労だから」 し込みをしたら出場拒否 した。次の年も出場の申 て少しあきれてしまいま と組合差別をされました。 組合が違うということ スポー ツ大会にまで 指 ち取る事ができました。 がもたれ、その結果昨年 やっと大会への参加を勝 うございました。 員の方々本当にありがと 組合員の皆さん、地本役 を持って頑張っていきた 組合運動も、柔道も自信 れからも皆さんと一緒に いは叶うと思います。 すればいつか必ずその願 がんばりましょう。 そう 最後まであきらめないで で正しいと思ったことは ご協力をしていただいた ても気分のいい一日を過 けてしまいましたが、と 試合の結果は1回戦で負 こすことができました。 組合員の皆さんも自分

・18北海道総決起集会が北海道教育会館に 2 て開催されました。

この集会は北海道平和フォーラムなどの主催の 建交労の闘争団員当事者のみならず 建交労中央本部、全労連の連帯。 共産党、民主党、新社会党の賛同。 各共闘の 文字通り解決をするための総団結の 場になりました。



・仙台からも武田特執、 仙総支部鈴木執行委員 の2名が参加しました。

JR編用電研裏構の管理を開決を求める 2・18北海道総決起集会

集会では主催者、連帯の挨拶後、記念講演が行 マスコミから見た国鉄闘争』 の橘井潤氏より分割・民営化の過程、 地労委闘争から今日まで、自分が記者として関 て見てきた労働者の実態や運動のあり方を 叱咤激励を交え話がされました。

最後に国労、全動労争議団からそれぞれ決意 家族からアピールが読み上げら

れ全体の拍手で採択後 確認し終了しました。

集会後の国労北海道との交流会では、 昇進和解を最大限に生か 者の拡大を何としても勝ち取り、不採用問題の解決にの力にしたいと仙台から も決意が述べ、全体で解決に向け奮闘することが確認されました。